

チューニングショップが レース界の表舞台に立つ日。

こりやおもしろそーだ!!

真夏の祭典 レース・ド・ニッポン

夢のGT-R対決!!

すっごく盛り上がるイベントとして、毎年レースファンが心待ちにしている筑波サーキット真夏の祭典「レース・ド・ニッポン」。一昨年までのグループA、昨年のニューツーリングにかわり今年のメインレースは、ナ・ナント、チューンドGT-Rによるワンメイクレースだ。しかも、DTMばりの20周の2ヒート制スプリント/こりやレースファンならずとも、見逃せないイベントになるぞ!!

今年のメインレースはGT-RワンメイクのDTMみたいな2ヒート制スプリント! チューニングショップ対抗戦だぜ!!

もしれない。

このグレートな企画を生み出したのは、GT-Rレーシングアソシエーション。といって、いかなければGT-Rを心から愛する、生粋のGT-R好き集団。「GT-Rこそ史上最強最速として最高のマシンだ」ということをあらためて世に知らしめようと、SCCN（ニッサンスポーツカークラブ）のバックアップのもと開催に向け地道に活動してきた。ついにその成果が実ったというわけ。

また、チームごとに個性を表現してもらおうと、外観の美しさ&カッコよさを審査する。ドレスアップコンテスト。なる企画まで用意されているあたりは、ニクイまでの心配りだ。

目指したのは、肩肘張った極限の速さだけを競い合うレースらしいレースじゃなく、もっとフェスティバル的要素の強い身近なサーキットイベント。レースを通じてGT-R好きが集い合い、一日タップリ楽しめればいい、といったかんじの、いわば参加者主体のお祭りイベントだ。

「サンデーレースの延長」といった失礼かもしれないけど、ノリとしてはそれにちかいかいものがあるといういいだらうね。

「二日まで参加者主体、しかもチューニングカーでのレースとなれば、エントリーラント(参加者)の主役はレース屋さんでなくチューニングショップとなるのは明白。自作のGT-Rをお披露目するにはまたとないチャンス

「GT-R・TWINNレース」っていったいどんなレースなの?
N2規定というのは、かなり改造範囲が広い。ほとんどなんでもアリ状態と言ってもいいくらいだ。それだけクルマをチューニングできるということなんだけど、裏を返せば最低限のこと(安全対策ね)さえやっていれればどんなクルマでもOKですよ、ということでもある。

つまり、ショップでセロヨン仕様フルチューンしたGT-Rであってもカリカリに最高速仕様チューンしてあっても、じゅうぶんエントリー可能ってわけだ。じゃあ、ちよっとばかり具体的に説明してみよう。

●エンジン関係
シリンダーブロックの変更が認められないことを除けばほとんど自由。ただ、潤滑方式を含む潤滑系統の変更とそのための最小限の車体改造は許されるが、オイルタンク、オイルポンプは車室内に設置することはできない。

●シャーシー関係
サスペンション系統、ステアリング系統が当初の形式を保っていい。

●最低重量
1200kgとする。

と、だいたいこんなかんじ。サンデーレース仕様車なら安全タンク積むくらいで出場できちゃう。もちろん、エンジンは000psだろーと0000psだろーと、自分が見えるっていうならどなたがパワーがあっても問題ない。さて、参加するためにはどんな条件をそろえておくべきか、というのが、というのがこれか。こりや

GT-R対GT-Rの対決!!
1200kgの最低重量!!

独占スクープ!
いままでありそうでなかったスカイラインGT-R (BNR32・BCNR33) オンリーによるスプリントレースが、いよいよ8月19・20日の両日、実現する。戦いの舞台は真夏の祭典として有名なレース・ド・ニッポン、筑波サーキットだ。

いやあ、なんとも楽しみだねえ。バリバリチューニングOKのN2規定で行われるっていうから、その迫力たるやさうとうスゲーもんだろーぜ。最強の名を欲しいままにしたあのグループA時代のパワフルな雄姿の再来、いやそれ以上か

車両規定をある程度自由度のあるN2にしたのも、カリカリのレーシングマシンによるレー

95 8/19 07:2